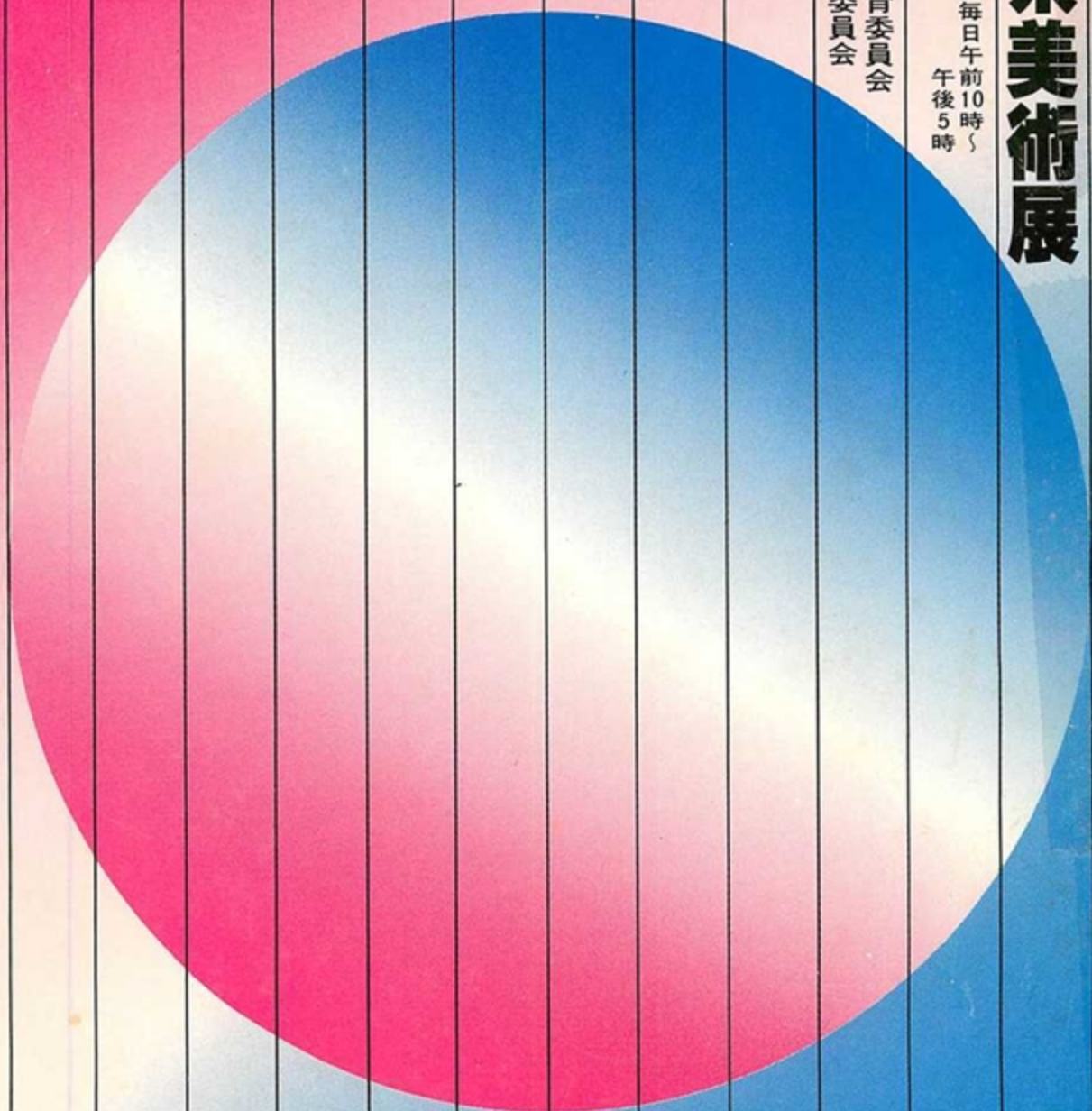


第15回県芸術祭

第36回県美術展

会期 11月7日(土)～15日(日) 毎日午前10時～午後5時  
会場 県郷土文化会館

主催 県美術家協会・県教育委員会  
徳島新聞社・県芸術祭執行委員会



洋画

書道

彫塑

写真

日本画

美術工芸

商業美術

写真



招待 土佐泊 木田英之



招待 吉野川慕情 福島正仁



招待 秋 西條征二



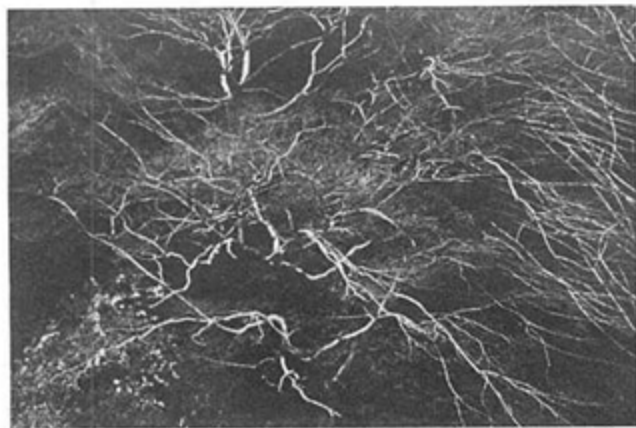
招待 夜明け前 増田清次



招待 祇園冬ざれ 勝西雅夫



招待 夏のコンポジション 井上光雄



招待 落葉樹 櫛淵 魏



招待 夜明け 藤井 梵



招待 藍寢床 武内 亨



招待 變化粧 酒井博司



無鑑査 天地創造 三好和義



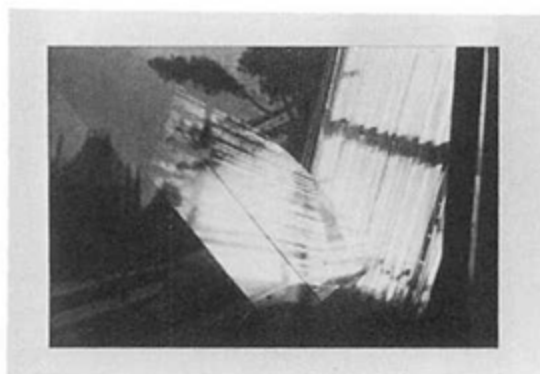
招待 生 笹田敏雄



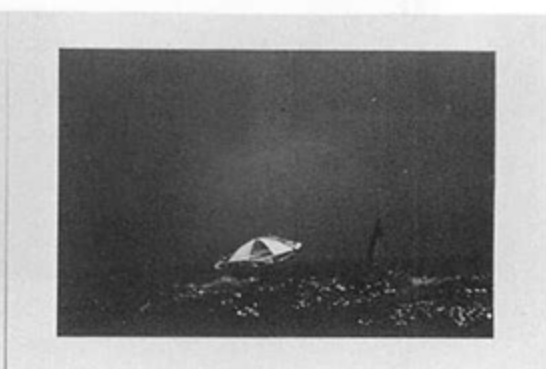
特選 影 関口 務



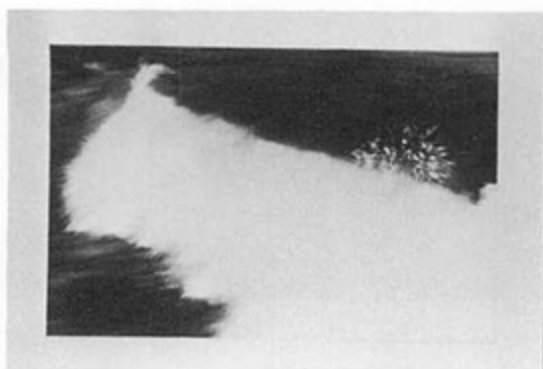
無鑑査 黎明 上野照文



特選 私風景 堀潤完治

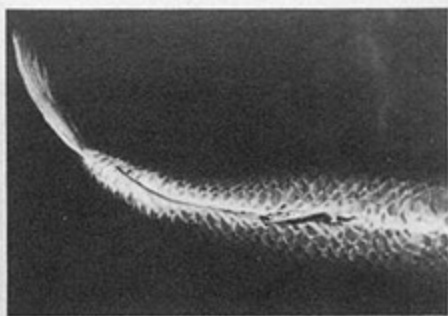
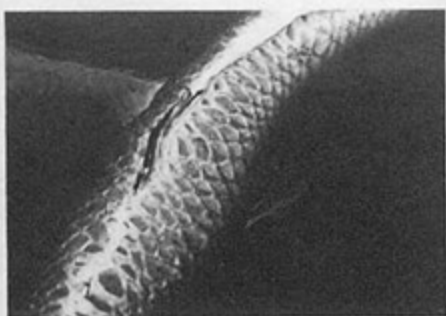


特選 Summer 前浦芳久



特選 波線 林 敏彦

特選  
鯉  
森賢一



特選  
昼下り  
井藤光章



準特選 蓮 納田康雄



特選  
のら犬  
中野建吉

特選  
夏  
田村泰弘



準特選 恐山 古井謙吉

準特選  
少女  
橋本圭祐



準特選 若者 水口義行



準特選  
雪の朝  
鈴木秀次



準特選 犬 尾崎孝幸



準特選 燕 逢坂 登



準特選 月明 佐治利弘



準特選 夏の終り 山本徳仁



準特選 猫 野口佳一



準特選 争うウミネコ 岩崎英昭

の 昼	SUMMER	波	私	黎天	髮落	藍夜	祇園	土	夏	夜	吉	△招								
夏	ら	下	鯉	影風	化葉	生寝	明冬	秋	の	明	野									
							ざ	佐	コン	け	川									
								泊	ボジ	前	幕									
									シ	情	待	△								
									ョン	待	情	▽								
田	中	井	前	森	林	関	堀	上	三	酒	榎	武	藤	勝	西	木	井	増	福	
村	野	藤	浦			口	渕	野	好	井	渕	田	内	井	西	条	田	上	田	島
泰	建	光	芳	賢	敏		完	照	和	博	敏		雅	征	英	光	增	田	清	正
弘	吉	章	久	一	彦	務	治	文	義	司	魏	雄	亨	梵	夫	二	之	雄	次	仁

妻丸	金座	地願	白昼	惜の	秋風	翳	追	藍屋	AT HIGH SCHOOL	時空	△入	夏猫	争う	月の	少犬	雪燕	若の	恐運	△準			
龍印	宿象	葳藏	夢	春	浜	り	憶	敷		間	選	終	ウミ	明	女	朝	者	山	特			
堀	納		古					安		森		野	山	岩	佐	尾	橋	逢	鈴	水	納	古
渕	田	"	井	"	"	"	"	長	"	卓		口	本	崎	治	崎	本	坂	木	口	田	井
完	康	"	謙	"	"	"	"			史		佳	徳	英	利	孝	圭		秀	義	康	謙
治	雄		吉					剛				一	二	昭	弘	幸	祐	登	次	行	雄	吉

野	私	ね	夏	秋	光	蓮	蝶	帰	夕	晩	雨	風	風	梅	閑	燃	薄	黒	明	舞	鯉	鯉	織	妻
の	隣	の		風		秋	・	り	れ		揚			閑	え		い	日	台	網	の	の	寵	
の								ど						校	の	る	明	シ	本	裏	ほ	ほ		
仏	家	こ	夢	雲	影	花	蝶	道	き	夏	情	げ	車	雨	象		明	ポ	一	番	裏	り	り	女
岡	城					橋	吉	尾	佐	長	新	和	田	篠	須	西	石	国	櫛	久	関	中	堀	
崎	尾	"	"	"	"	本	本	浦	野	谷	浜	田	中	原	見	川	山	見	武	米	口	川	渕	
茂	静					圭	武	元	辰	進	奈	昭	男	元	信	忠	正	武	紳	正		定	完	
春	子					祐	夫	彦	夫		美	勇	男	男	男	祐	明	明	哉	雄	務	典	治	



五野	チ	竿	光	イ	踊	白		訓	飛	棧	夏	刻	夜	霧	冬	微	初	黄	荒	曆	孔	追	夏	
月				グ								1	の					昏					の	
の	猫	ヨ		ア			奴	風	影			の	の	の				の		売			午	
頃	分	ウ	灯	跡	滝	る	日			練	来	朝	日	3	グ	日	空	笑	夏	人	波	り	雀	憶
	前	尾	吉	樋	廣	堀	林			尾	多	富				佐	多	松	小	森			安	
	浦	崎	田	口	田	本			尾	多	富				治	田	松	小	森				安	
	芳	利	憲	博	千	信	茂	”	”	”	”	”	”	”	照	”	儀	良	”	賢	”	”	雅	
	久	男	介	美	柴	之	利	幸	美	一					孝	宏	平	洋	一			之		

秋	春	ス	彼	ヌ	若	夜	休	終	旅	ひ	黙	躍	MY	梅	山	雨
		ナ	岸	ノ	の	蝶	零	犬	雨	夜	日	とも	BOY	曙	雨	里
夏	寂	刻	蓮	SUMMER	の	は								の	に	
		メ	の													
	刻	猫	リ	頃	ト	達	す	日	焉	記	時	く	動	頃	て	後
伊		森	武	中	郡	荒	高	前	久	山	小	小	川	神	近	前
達		地	村	敏	賢	為	祥	米	健	下	松	川	上	野	藤	浦
照	”	”	”	敏	賢	為	祥	”	”	”	”	”	”	久	”	芳
子		貢	雅	雄	寛	治	一	文	雄	聳	豊	勝	た	朗	夫	久
												か	と			

少	追	飛	昼	野	冬	少	農	陽	高	蟬	穂	春	働	芙	街	憂
									校							
								婦	射	一						蓮
								た	年							の
																雨
年	憶	翔	り	炎	空	女	ち	し	生	A	高	日	く	蓉	角	日
和	田					野		中	住	湯	宮	井				大
田	村	”	”	”	”	口	”	野	友	本	城	藤	”	”	”	野
俊	泰	”	”	”	”	佳	”	建	貞	一	高	光	”	”	”	武
彦	弘					一		吉	夫	生	士	章				

先だって福岡での写真展を審査したが、それにくらべて徳島のレベルのほうがすぐれていると思う。また私は毎月千点から二千点の写真を見ていたが、それをメジャーにしても徳島の水準は高い。いいなあ、とワクワクした気持ちで審査をさせてもらった。

全体的な感想をいえば、作者たちが対象を単に見たものの再現でなく、カメラ・アイを通して自分のものとして消化しているのに感心した。また、ことしの特徴は特選になった八点のうち、六点までが組写真だったことだ。決して作爲的にこうしたわけではない。

これまで組写真といえば三点とか五点とか、数の多いものが目立ち、応募者もそのほうがいいと思いついてはいるようなふしもあったが、組写真は「説明的」なものであつてはならない。その点、二点にしほつて作品をまとめたことで、作者の意図とテクニックが明確に出てきた。このいい傾向が来年どうなつてゆくか、楽しみだ。

特選作品について感想をいうと、まず林敏彦「波線」は一点は波だけ、一点はサーフィンという構成で、このコントラストが1プラス・1マイナス・2ではなく、8も10もの効果が出ている。波の白と黒の表現技術は完全に近い。

森賢一「鯉」は、鯉の姿のとらえ方が絶妙で、すごい冴えがみられる。鯉の持つ動感と生きていく力がストレートに出ている。井藤光章「昼下がりは、ローカリティーがあり、ソフトな仕上げだが、よく神経が行き届いている。一種のロマンも感じられる。

関口務「影」は、オートバイで走る自分の影を撮るという積極性がよく出ている。流し撮りにしたのも効果的だ。

中野建吉「のら犬」は、フレーミングが実にうまい。犬の全体像を撮っていたら、これほどの効果は出なかつただろう。画面の切り取り方の大切さをこの写真は教えている。

堀渕完治「私風景」は、作者の心象風景だが、一枚なら弱いところを二枚で効果を上げていく。ユニークでモダンな作品だ。前浦芳久「SUMMER」は、視点のよさを買う。これも二枚ゆえに効果を上げており、ダーク・トーンに仕上げているのもいい。

田村泰弘「夏」は、ヒマワリと女性のうしろ姿を、特別にキラキラした表現でなしにとらえているが、「夏」を感じさせる。ヒマワリをラフな調子で焼いているのもいい。